

発 言 通 告 書

令和 7 年 9 月 10 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 池 田 美 恵

次のとおり通告します。

発言順位	4	受領日時	9 月 10 日 午前・午後	5 時 5 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間	約 60 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者				

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	市民会館について	(1) 閉館時期と空白期間の対応について ①現在の市民会館が使えなくなってから新しい会館が完成するまでの空白期間に関する入念な調査や関係者へのヒアリングを、本市としてどのように取り組んでいくのか。 ②中ホールが使用できなくなる際の代替策をどのように考えているのか。 (2) 今後整備する新たな市民会館の在り方と、検討会の進め方や計画策定についての本市の考え方を問う。 (3) 新設の場合、立地の候補地はどこを選択肢とするのか。 また、その検討プロセスをどのように進め、それらの情報は市民に公開して行われるのか。 (4) 建設費と財源計画についての考えを問う。 (5) 市民会館の利用料金と市民文化活動の支援について、本市の考えを問う。 (6) 新たな市民会館は、具体的にどのような役割を持つ施設として考えているのか。 (7) 新しい市民会館を整備するに当たり、計画段階から市民の意見やアイデアを広く募集し、市民参画型の協働プロセスを導入する考えはあるのか。 また、意見募集やワークショップなどをどのように展開していくのか。
2	今後の財政見通しについて	(1) 今後 10 年から 20 年にかけて、本市が見込んでいる投資的事業の総額は、おおよそどの程度になるのか。 (2) 大型建設事業の財源として、市債や補助金及び市の一般財源はそれぞれどの程度の規模を見込んでいるのか。 また、財源確保に当たり、国の支援を最大化する工夫や、市民への説明責任をどのように果たしていくのか。

[illegible]